

【目次】

1. 田渕哲也氏を招き第1回政治・社会運動史研究会を開く、2月16日！
2. 友愛労働歴史館の1～2月の見学者・見学団体！
3. 連載「日本労働会館物語」第53回（日本労働会館に結集した人々―安部磯雄その1―）

1. 田渕哲也氏を招き第1回政治・社会運動史研究会を開く、2月16日！



友愛労働歴史館は2月16日午後、元参議院議員の田渕哲也氏を報告者に招き、第1回政治・社会運動史研究会を開催しました。同研究会は、友愛労働歴史館の調査・研究活動の一環として設置されたもので、「日本の民主的社会主義政党、並びにそれと関連する社会運動史の調査・研究」を目的としています。

第1回研究会では、自動車労連（当時、現在の日産労連）から参議院選挙に出馬し、4回の当選を果たした元民社党副委員長・同参院会長の田渕哲也氏が報告を行いました。

田渕哲也氏は昭和43（1968）年に参議院全国区に出馬し、77万票を獲得して11位で当選。その後、昭和49（1974）年に81万票（10位当選）、昭和55（1980）年に110万票（11位当選）を獲得し、当選を果たしています。また、選挙方法が変更した昭和61（1986）年には民社党比例名簿2位に搭載され、四選を果たしています。



西村栄一・春日一幸委員長時代に民社党国民運動委員長を務め、佐々木良作委員長時代に青年婦人対策委員長や市民団体対策委員長を務めています。塚本三郎・永末英一両委員長時代には選挙対策委員長を務め、その後、党副委員長や参院会長の要職を経て1992年に参議院議員を引退しています。

研究会で田渕哲也氏は、労働組合幹部から政界への転身、民社党幹部としての活動、民社党の功罪などについて、1時間余に亘り報告を行い、その後、質疑・意見交換を行いました。

2. 友愛労働歴史館の1～2月の見学者・見学団体！



友愛労働歴史館は現在、企画展「同盟結成から50年、その今日的意義を探る」と、常設展「日本労働運動の100年余―友愛会・総同盟（戦前）を中心とする」を開催中ですが、2015年1月の見学者は107名でした。また、2月は17日現在で106名です。

1月の主な見学団体はUAゼンセン・NCCUニチイ分会、九電ユニオン、オリエント時計労組、四国電労、三菱重工労働組合でした。また、2月にはUAゼンセン流通部門「未来塾」、UAゼンセン・SSUAやまと労働組合、東北発電工業労働組合、四国電力総連高知県連絡会、UAゼンセンSSUA、三菱重工労働組合広島支部の皆さんを予定しています。

3. 連載「日本労働会館物語」第53回

＜日本労働会館に結集した人々—安部磯雄その1—＞

2015年は「日本野球の父」、「日本社会主義運動の父」と呼ばれた安部磯雄（1865～1949年）の生誕150年に当たります。今回の「日本労働会館に結集した人々」では、安部磯雄を取り上げ、紹介いたします。



安部磯雄は1879（明治12）年、同志社英学校に入学し、在学中、新島襄から洗礼を受けます。1884年に卒業し、神学科に進みますが、伝統的な神学への疑問、ストライキ騒動の責任を取って村井知至とともに自主退学しています。

その後、ハートフォード神学校やベルリン大学に学びます。帰国後の1895（明治28）年、岡山教会に復帰。1897年に同志社中学教員となり、1899（明治32）年に上京して東京専門学校（早稲田大学の前身）の講師になります。

この頃、安部磯雄は日本ユニテリアン協会に加入します。1902（明治35）年、協会の内紛により一旦、退会しますが、1909（明治42）年に復帰し、日本ユニテリアン協会会長となります。安部磯雄は統一基督教弘道会（ユニテリアン教会）会長として、鈴木文治と友愛会を支えたことで知られています。この当時、安部磯雄は日本ユニテリアン協会会長、鈴木文治は日本ユニテリアン協会職員でした。



安部磯雄は今日、「日本社会主義運動の父」と呼ばれています。それは安部磯雄が1901（明治34）年の社会民主党結党を主導し、また、1926（大正15）年の社会民衆党創立を主導したことによります。安部磯雄と社会主義運動との関わりは、1898（明治31）年に社会主義研究会の結成に関わったことでスタートします。社会主義研究会は、同志社出身で当時、ユニテリアン教会を中心に活動し、その月刊誌『六合雑誌』に論文や評論を発表していた安部磯雄や村井知至、岸本能武太らを中心に結成された研究会でした。この社会主義研究会会長に就任した村井知至は、安部磯雄と共に同志社に学び、共に退学した盟友です。社会主義研究会は後に実践団体である社会主義協会へと発展し、さらに1901（明治34）年には日本で最初の社会主義政党・社会民主党（不許可）へ進んでいきます。

また、安部磯雄は1926（大正15）年に社会民衆党（戦後の日本社会党、民社党）を結党し、委員長に就任しています（書記長は片山哲）。社会民衆党は、無産政党合同の大きな流れの中、1932（昭和7）年に社会大衆党へと発展し、戦前期の日本社会主義運動のピークを迎えます。

このような経緯から安部磯雄は、「日本社会主義運動の父」と呼ばれています。また、彼は公娼制度の廃止や産児制限、婦人解放運動にも積極的に関わっていたことでも知られています。さらに安部は、日本野球の発展に貢献したことでも知られています。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」



発行：友愛労働歴史館 責任者：徳田 孝蔵 担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F TEL050-3473-5325

Eメール yuirodorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

唯一館から121年、友愛会から103年